

明石工場を増強

奥谷金網製作所

パンチング複合機稼働

【神戸】奥谷金網製作所（神戸市中央区、奥谷智彦社長、078・3511・2531）は、パンチングメタル（打抜金網）を生産する明石工場（神戸市西区）を増強する。10月中旬に第2工場に増設したレーザーパンチング複合機が稼働し、さらに新設した第3工場が2018年春には本格稼働する。一連の投資額は約5億円で、同工場の生産能力が約10%高まるとする。



第2工場に導入したレーザーパンチング複合機

多品種生産体制を整備

奥谷金網製作所は工を整えている。第3工場を備え、通常のパンチングメタルに加え、従来は複数枚溶接して対応していたようなプラント向けの大型製品も

業用フィルターなどにではベルギー・スーネ製の大型パンチング加工機を導入。2×4

産や多品種生産体制を、併の大型加工テーブル

生産する。年内に据え付け、18年4月頃の本格稼働を目指す。

第2工場には独トル製のレーザーパンチング複合機を増設した。食品の選別やふるい、工業用フィルターなど、プラント、機械向けに広く需要が見込めることから、増産や納期短縮に役立てる。これら加工機の増設などにより、第2工場だけで従来比で3割増の生産能力を確保。明石工場全体では同1割増の増産体制を整備する。

奥谷金網製作所はパンチングメタルを主力とする老舗金網メーカー、売上高は約10億円（17年5月期）。